





平成三十年に設立したすみだ晴山苑もご利用者様、ご家族の皆様を支えられ、三年を経過することができました。また、保育士として放課後等デイサービスに勤務して丸五年が経過し、その内の三年間をキララで勤務して参りました。

キララでの勤務が仕事として初めての重心児さんとの関わりでした。開設準備段階でまだ皆様とお顔合わせをしていない間、どんな子たちが来るんだろう…と期待に胸を膨らませると同時に、「命をお預かりする」という責任に怖気づいてしまう事もありました。いざ開所してみると怖気づいていたことすら忘れてしまうほど楽しく、瞬間間に一日一日が過ぎていき、いい意味でその気持ちも薄れていきました。

子どもたちと関わる中で一番嬉しいと感じる瞬間は一人一人の成長を感じられるときです。子どもの成長は瞬間間に過ぎて行ってしまう、いつの間にかできるようになっていきます。「いつの間にかできるようになったこと」を拝見することも嬉しいですが、「キララでできるようになった！」という瞬間があるとさらに嬉しくなります。この瞬間があるからこそ保育士はやめられないなあと思います。

そして、支援をする中で一番心掛けているのは「キララで楽しんでお家に帰ってもらう」です。キララでの出来事をお家に帰ってから夜ご飯の時間やお風呂の時間などにお家の方に伝えてくれてありがたいなとも思っています。実際にキララのことを話してくれた、やキララに行くのを楽しみにしている、というお言葉を伺うこともあり、とてもうれしい気持ちでいっぱいです。今後も活動やお友達、職員との関わりを楽しかったと感じていただけるように精一杯支援をしていきます。また、楽しかったこと、嬉しかったことは気持ち良く心に残り、また、そのプラスの気持ちは自信や積極性に繋がると考えています。活動が楽しかった、お友達との関りが楽しかった、等そのような経験、体験が一人一人の将来に繋がっていくといいなあと思います。

開所当時は小学校低学年だった子どもも高学年になり、高校生だった方は卒業しました。未就学の子は小学校に進学し、キララに通所が始まりました。出会いや別れの多い仕事で、卒業生や転校していく児童・生徒を見送るのはとても寂しく、涙が止まらないこともほとんどです。(100%止まりません(笑))。

卒業しても転校してもキララのことを心に残っていることを願っています。この三年間ありがとうございました。これからもどうぞよろしくお願い致します。

P.S 趣味はキャンプとバイクです。いいギアあったら教えてください。卒業したら一緒に行くかね、なんて誘ってみたりみなかたり

副主任 田中 萌



社会福祉法人 晴山会

障害福祉サービス事業所 (多機能型)

すみだ晴山苑

生活介護事業 クルン/放課後等デイサービス事業 キララ



